

アフターコロナに 傾向と対策

2ヶ月余りに渡って自粛規制(ロックアウト)が敷かれ、ようやく解除されて、何はともあれ『ホッ』としています。武漢ウイルスの感染拡大を極力押さえ込むことに成功した、いくつかの国の一つが、タイ国でもあると思います。外国人(私)から見ても、政府の指揮・命令・通達・国民の徹底振りは見事なものでした。さて、問題はこれからです。

一次感染がある程度収まったとして、自粛規制を解除した途端に二次感染・三次感染が拡大し、大変な状況になっている事も、隠ぺいし続けているのが中国の実態だとネットで拡散されています。潔く投了すべきが、出来ないメンツ第一主義故に、益々窮地に追い込まれていて、冷戦で済まずに熱戦にまで至りそうな気配は、周知の通りです。

日本も『三密』を提唱し、如何わしい『アベノマスク』まで配布し、擬似ロックアウトの『自粛』まで強要しても、根本原因(発覚時に即時、中国からの渡航者を入国拒否しなかった事)を曖昧にし続けている限りにおいては、感染拡大はダラダラと続いて当たり前だ。現に、緊急事態宣言を解除した途端に感染者数が増大している。(潜在保菌者が多数拡散している証拠でもある)ワクチンが開発されるか、有効な医薬品が普及するまで安心できる状況ではない。恐らくは、この夏にも収束せず、晩秋から冬にかけて二次感染の拡大が心配される。



タイスキMK店の前

日本人の十八番「まっ、いいか」は通じない。いい加減どころでない、なし崩しの世界に於いては、ダメなものダメ！なし崩しは許さない！というスタンスを強固にしなければ際限なく奪り取られてバカをみて来た。というのは、近隣反日国で散々経験している通りだが、バカを見つけて懲りないのが、日本人のお人好しを通り越した馬鹿さ加減とも云える。端的な言い方をすれば、災いとウイルスは、反日国からやって来るという事でもある。第二次感染拡大が在り得るという事を前提に『そなえよつねに』の観点から、馬淵元大使の話の聞こう。



- <https://www.youtube.com/watch?v=CKOEX3SsCw8>
- <https://www.youtube.com/watch?v=ezymihzC2gq>
- <https://www.youtube.com/watch?v=o-7k2l-2l3M>

日本人の生き方 馬淵睦夫
ウイルスよりも恐怖の感染で世界のフェーズが変わる
コロナ後の世界変動・乗っ取られる前に日本を守れ！

実しやかに囁かれているのが、「武漢ウイルスは、老人殺しのウイルスとして作られた」とも云われている。一人っ子政策で、日本の高齢化社会を遥かに凌ぐ超高齢化社会になりつつある中国の人口問題をみれば、「有り得るかも」と、得心してしまう。現に、感染者数・保菌者数は定かでないにしても、死亡者は高齢者になるほど高く、70~80代で感染し発症したら、かなり高い確率で死に至るとのデータも発表されている。だから、「収束した」とか、「専門家が言っている」などと云うことを鵜呑みにせず、自主防衛の『そなえよつねに』=『常在戦場』の心構えだけでも維持し続けたいものだ。

常在戦場

- https://www.youtube.com/watch?v=Wc_wrXnOFFs 解説】専門家「前のめりになった」第2波に備え政府に提言

世界中を巻き込んだ武漢ウイルスは、未だに猛威を振るっていて、収束の目処が立っていないのは、周知の通りだが、そんな中パナソニックやトヨタの中国傾斜は、日本政府に対する反駁の表明か？単なる中国流トラップの罠に嵌まったの事か？トヨタの場合、米国で上げつないほどの罵声を浴び、こっ酷い目に遭わされた恨み骨髓の仕返しの仕事かとも邪推している。

何れにしても、今の中国で(共産党支配下の中国で)日本企業が繁栄することはあり得ない。米中覇権戦争の狭間に立って、うまく立ち回り、勝ち組に乗ろうと算段しているのはこの両社だけではない。中国から撤退したくても、入れ込み過ぎて抜け出せない人や企業も少なくない。

中国は、疫病のデパートであると共に、人権無視の人災推進国家でもある。チベット・ウイグル南モンゴルに於ける人権弾圧のニュースは周知の通りだが、日本のマスコミでは真実は伝えない。香港問題は、天安門事件の再来でしかない。共産党員以外の自国民(人民)にも人権が無いから、平気で殺傷している。今、三峡ダムが崩壊しかかっている。億の単位の人民が犠牲になっても、天災のせいにして習政権はシラを切りまくるだろう。(以下の動画をご覧ください)



今月のお薦め本

- <https://www.youtube.com/watch?v=cBzixPPaVeA> 三峡ダム！-1
- <https://www.youtube.com/watch?v=HX98s140hgw> 三峡ダム！-2

- アフターコロナという言葉が出回っているけれども、まだアフターではないと思いつつ、再生の対策を田村氏に聞こう。
<https://www.youtube.com/watch?v=jol-8aYPe-o> コロナ恐慌は日本再生最大のチャンス 田村秀男#18
- <https://www.youtube.com/watch?v=gd7Pz9u3enc> 日本は大胆なコロナ経済対策が可能！ 田村秀男#19

露呈！ バカの正体

「何？あらためて自分(私)の事を露呈しようとするのか？」「それは、もう充分わかっている！」と云われそうですが、私を遥かに追越した(私など足元にも及ばないほどの)バカが、有象無象居ることが、今回の武漢ウイルス騒動で、明らかになったと云う事です。有識者・知識人・専門家と言われ、地位や権威を盾にして浅知恵を振り撒いた輩です。

結論から先に言えば、「自分という存在は恥ずかしながらバカなんです。」と自覚できているかいないか云う事です。人には言えないまでも『実は、どうしようもない人間なんだ』という自覚をもって、諸事に当たっているかどうかという事でもあります。立場や地位、名声や権威等と云う実体とは遊離した『エリート』という飾り物を与えられたが故に、本人自身が気付かないうちに『完璧なバカ』に成り切ってしまったという人が、巷に掃いて捨てるほど多い。

バカさ加減にも程度(レベル)の差があるものの、どう評価するかは、規準があるわけではない。自分のバカさ加減に比較して、かなりイッているか、いないか見極めたら容易に分かるだろう。

TV新聞などのマスメディアでは報じられない陰湿なニュースとして、一回ポツキリでお茶を濁して終わりにした『特別給付金』は受け取りましたか？事業者向けの給付金などもすんなり給付されたのでしょうか？『お役所仕事』は『吉野家』のサービスと反対の遅い・まずい・高飛車と、相場が決まっていますから、日本人の忍耐力に期待した対応は改善されません。



そもそも、「国民全員に一人あたり10万円を給付する」と云っておきながら、在日外国人には給付し、在外邦人は給付対象外にすること自体おかしい。根本理由は、総務省が担当し、住民基本台帳しか国民を把握できないと云う、頭と知恵が回らなかった事に起因する。手配を丸投げされた地方自治体も、てんやわんやの手作業に追われ、二重・三重払いの失態をやらかし返還請求に苦慮している有様。年金支給で住居を把握している年金機構や、在外邦人からの在留届を受理して把握している外務省も、政権からの指示が無い事を良いことに、無視を決め込んでいた。青山繁晴参議院議員他の議員から、「在外邦人にも給付すべき」との声掛りがあって、検討される事になったが、いつになるのか、どうなるかは未定。

それよりも何よりも、この危機的状況に便乗して、事業者向け給付金手配を段取りするのに政商竹中平蔵(パナ会長)や電通など中間業者が段取り手数料として769億円の荒稼ぎをしていた事がネット上で報じられています。

<https://www.youtube.com/watch?v=L4Ynf8OhcGc> 「給付金」委託費769億円

どさくさに紛れて、国民の目に触れない場所で暗躍するのが政商の常套手段で、訳の分からない架空の企業までも便乗している。アビガンより、政権に巣食う寄生虫のような政商やその一派・癒着企業を駆除するための虫下し(こういう情報の拡散)の方が先だという話です。

本当に、国民をバカにした話だと思いませんか？自分がバカなのは百も承知でも、バカにされて黙っているのは、バカレベルを上げるだけで、日本を貶める事に加担していることだと憤らざるを得ません。怒れ日本人！国民をバカにしている政府に対してババボボーと叫ぼう！

「安全でも、安心できない…」と言う迷言を吐いた緑の狸こと小池百合子都知事は、ダラダラと収まりのつかない新規ウイルス感染者に業を煮やしながら、相変わらず『三密』を訴えている。『三密』を要請・強要しても、収まらない現実を受け容れられない(間違った指示を出している事に気付いていない)から、安心できない街づくりを推進し、選挙に再出馬し、当選している。知事も知事なら、コロナの狸に投票した都民も都民で、同じアホなら踊らにや損！損！で、現状から抜け出せない。(どうしたら良いのかは、以下の対談をご覧ください)

<https://www.youtube.com/watch?v=fwbkmHhG8fi> コロナ禍の中で自ら判断すること



PASONA
MASTERS



日本で公表されている感染者数・回復者数・死亡者数は他国に比べて圧倒的に少ない中にも、パンデミック(世界的大流行)は勢いを増している。日本も、緊急事態宣言を解除し、『東京アラート』なる、しょうもない基準を設定し、解除した途端に急激な感染者増大が発表され7月には都内で連日100人を超えた。『喉もと過ぎれば直ぐに健忘症に罹り易い性格を持ち合わせているのが、今の日本人の特徴でもある』ということも証明されてしまった結果だ。

リニア新幹線の南アルプス貫通トンネル工事が頓挫していて、開業の目処が立っていないという話も、静岡県知事のごね得狙いが明白だ。既存の東海道新幹線は17駅中、静岡県内に6駅もあって、それなりに十二分に潤っていることは棚に上げて、1駅もできないリニア新幹線を通さない。環境問題だ！水利問題だ！などと難癖をつけて工事を阻んでいる。国家の命運の掛った事業に(ごね得を狙って)協力する気のない県知事であると断言する。肩書き・経歴・出自に関わりなく、バカはバカ。未来の日本を貶める者は許せない。

https://www.youtube.com/watch?v=gTb_-KNYByg 世界最速を実現した日本の超電導リニア

特別定額給付金



なせば成る なさねば……

何もかもが、最低・最悪な状況下であって、どうしたら良いのか皆目見当もつかない。途方に暮れて、更に最悪な選択肢を選んで…という人も少なくない。いつの時も、その時になって、どうしよう！どうしよう？と思い、慌てても、どうしようもないというのがこの世の常でありますから、今という瞬間から「そなえよつねに」の一歩を踏み出せば、

なせば成る、なさねば成らぬ何事も、成らぬは人のなさぬなりけり(上杉鷹山)。が、痛く実感されるでしょう。先日、拉致被害者家族会の代表だった横田めぐみさんの父親滋さんが亡くなりめぐみさんの双子の兄弟の一人が、記者会見で「安部首相は懸命に動いてもらっている」と、弁明されていましたが、首相は国際世論に訴え、米国大統領に協力を取り付けるまでが限界で、後は北朝鮮の内部崩壊を待って、その機に乗じて何とかしようと思っているとしか考えられない。(それまでは直接手も足も口も出さない)その機が来ても乗り損なうのではないかと。

「成らぬは人のなさぬなりけり」が、耳に痛いはずだ。今回の武漢ウイルスの影響で廃業を余儀なくされた無辜の経営者は数知れない。たまたまの偶然で、維持継続はできても、進歩発展性(新しい事業展開)が望めないと判断し、Pure/Thai営業を昨年8月に廃業し七人の侍Projectによって、初心に立ち戻ろうと切り替えた訳です。律儀に賃貸契約満了の今年5月までやっていたとしたら、もろに大損失を被り、初心に立ち戻るところではありませんでした。



エキサイティングタイランドに住んでいると、日々いろんな事が起こって、この上なく楽しい。半月ほど前、身重な野良猫が腹を空かせて我が家のラッキーがうまそうに餌を食べている姿を遠巻きに眺めながら、「私にも食べさせて下さい」と懇願するように泣き叫んでいるのを見て、どうにもたまらなくなって(恐らくは食べたことがないであろう高級キャットフードを)与えた。我が家のバカ猫は、飼い主同様舌が肥えてしまって、安くてまずい餌は臭いを嗅いだだけで「こんなものが喰えるか！」と右手足で掃き掃除の如く「No!」サインを出す。野良の方は、むしゃぶりつく様にながら「もっと欲しい」「もっと欲しい」で、お替り迄要求してきた。食べっぷりが豪快で気持ちよかったから、お替りまでご馳走した。

一度味をしめたら、毎日遣って来て、朝晩二回の食事時間にはきっちり催促するようになり、このまま居ついて、子供でも産んで居座られたら大変だと思っていたら、どこかで出産し子育てに忙しいようで、餌まで食べに来なくなりました。果たして今後どうなりますか？

今後どうなるか心配なのは、中国全人代常務委員会で全員一致で可決した『香港国家安全維持法』で、香港人の人権・言動・自由が剥奪されることになった事から、大量の難民が発生し、民主化運動に参加していた無辜の市民達が無事に避難(国外逃避)できるかどうかということだ。世界が注視した一国二制度50年間継続の二国間協定を、一方的に反故にするようなキ印政権の国家暴力は到底容認できないものとして、非難勧告すべきものである。南シナ海の軍事基地化から始まって、香港の次は台湾、尖閣、沖縄へと食指を伸ばして来るであろう事が、明確になって来た。香港問題は、対岸の火事ではなく、近未来の日本の問題として捉えたら『遺憾』や『中国国内の内政問題』で済まされる問題ではない。(動画をご覧ください)



<https://www.youtube.com/watch?v=O9-M8dQ115M&> 国家安全法で香港は死んだ！
<https://www.youtube.com/watch?v=HTvjbEEBtCo> 中国帝国主義の暴走を止めろ！
<https://www.youtube.com/watch?v=XlrLdNY5tbU> 石平&有本香 香港問題



共産党一党独裁暴力政権の統治下に於いて、丸腰の香港市民が決死の覚悟で叫び、呼びかけているのは、国際世論に事実を伝え、助けを求めているという事だ。無力で、香港人を助けることも、何をする事もできない日本人でも、今の情報化社会において、事実を拡散する事ぐらいはできるだろう。

『明日はわが身』という緊張感が持てれば、現在進行中のチベット・ウイグル・南モンゴル等で行われているジェノサイドの実態にまで及ぶだろう。面子という対面を最大の価値観としているナルシスト(自己愛)の集合体が権力を握っているのだから、事実を暴露され、面子を潰されることに最大の恐怖感を抱いているとも云える。実態はノミキンでも、オットセイの一物の持ち主(桜海老に衣を付けまくって、伊勢えびのてんぷらだ)と吹聴しているのだと受け止めて、事実を拡散し、日本国民に周知させていこう。それが、無力の我々ができる最大の貢献だ。

実体経済はボロボロで、近日中に経済崩壊しても不思議ではないところで、国際金融拠点を潰す所業は正気の沙汰ではない。正気を狂気に換えてしまう程、『面子を香港人に潰された恨み』は深いと見るべきだろう。人権・言論・民主の自由は、それ程までに中国共産党にとって妬ましく、目障りな、どうにも我慢ならないものなのだろう。更なる武漢ウイルス拡大感染に加え、天は豪雨による洪水を天罰として与えている。長江(揚子江)・黄河で起きている様子。

<https://www.youtube.com/watch?v=zmwzaazkDrE> 黄河の放水による洪水
https://www.youtube.com/watch?v=PI1EAj_YXR8 長江の放水により洪水



新時代… 時間と空間が商品

2ヶ月余りに渡ってロックダウンが敷かれていたタイも、段階的に解除され、6月15日には(私的に待望の)天然温泉と、タイマッサージの営業が再開されました。早速両方の施設を利用し、久々に滞っていた循環器系の流れの回復を実感しました。呼吸器系の回復に加え、消化器系も順調で、多少ボケ気味なのが神経系と云ったところです。

これらの身体の機能的な流れは、社会や政治・経済・歴史の流れにも置き換えて考える事ができるでしょう。日本人は、縄文の昔から自然の流れに畏怖を感じながら、心身の健康状態も、自然の移り変わりに呼応する事を知り、保持して来たものと推測しています。縄文土器や土偶、研磨石器などから感じる、ナイーブ(Naive純朴)デリケート(delicate繊細)センシティブ(sensitive敏感)な心根が、優しい日本人を創り上げ、クリエイティブ パッションに岡本太郎が震撼し、氏の芸術作品に大きな影響を与えたのも、1万年以上の時間を超越した、縄文人の創造的作品という空間の中に秘められたパワーを感じ取ったからだと思います。

天然温泉に浸かり、含有する様々なミネラルを全身で吸収しながら、大地のパワーを享受し、ゆったりとした時間を過ごすほど、贅沢で幸せな過ごし方はない。更に湯上りに吹き出す汗もチェンマイのやわらかい風が吹きぬけて、発散・自然乾燥までされては至福の極みでもある。



いつきを過ごしたら、今度はタイ古式マッサージの店へ、ランナータイマッサージは、指圧が基本。特に重点的に施術して欲しい所を先に云っておけば、あとはセラピスト(マッサージ師)にお任せ。武漢ウイルス感染拡大を懸念して『テレワーク』『リモートワーク』なる『自宅勤務』で、今まで以上に肩こり、腰痛が重くなっておられる人も増えているでしょう。そういう方々にハーバルマッサージは効果靚面です(先日施術してもらいました)が、日本にないものねだりしてもどうにもなりません。機会を見て、チェンマイにおいで下さい。

私個人は、のんびりゆったりと、何不自由なく過ごさせてもらっていますが、世界は、のんびりゆったり処ではない、とんでもない激動の時代に突入していると云う事です。その渦中に居る人は、それこそ生きた心地すらない思いに苛まれておられるでしょう。今現在そうでなくても、否応なしに渦中に巻込まれかねない程、外部環境は悪化しています。前項のダム放水映像のように、国民や人民の生活や命よりも、権力者の面子やエゴの方が最優先になって、豪雨に託けて作為的に放水しているからです。

すべからず、想定外の出来事ではなく、人為的に画策された出来事が災厄として起こっていると考えれば(陰謀論ではなく)国や個人を陥れようとする国や個人が居る事は周知の事実であって、その事を前提として見極められなければ、まんまと罠に嵌まって災厄に遭って当然。

昔から、風光明媚な場所でも、川沿いや海岸線に家を建てるべきではないと、云われ続けて来た。洪水や津波など来ないだろうと思っても、いつか必ず被害に遭う。これも天災ではなく人災。香港の民主の女神と称されていた周庭さんの「授かった命を大切にしたい」という気持ちは率直だ。「一人の命は地球より重い」といって、数百人の拉致被害者を生み出した軽口軽薄首相が居たが、周庭さんの言葉の方が遥かに重い。(無事の逃避を祈りたい)

香港は、『時間と空間の商品価値を失った』と云えば、今や誰でも理解できるだろう。これも、紛れも無く人災でしかない。自由な時間・自由な言論空間が生み出す価値が如何に貴重で、高いものであるか思い知らされる『国家安全法』の実体だ。



日本人は、太古の昔から水と空気と自由はタダで手に入れて来た。しかし、現代は水も空気も自由もタダではなくなっている。悪辣な人間の欲望に加担し、利権に有り付こうとする企業や人間が増え過ぎた結果、タダのものがすべからず商品化されて来た。

労働そのものも本来はタダでなければならない。労働は人間の本能的行動だからだ。読者諸兄の大好きな本能的行動も、夫婦間で金のやり取りはしないだろう。これを商品化したのが風俗産業だし、関連業種でもある。Time is Moneyという概念から、労働が商品になった。タダ働きでは食っていけない！その通りだが、労働の附加価値を商品にすれば、質の高い附加価値は高く売れる。附加価値を創り上げるための労働はタダという考え方だ。1日で創り上げるのか。ひと月掛るのか。1年か？10カ年も掛るのか？2027年に開通予定だったリニア新幹線の開業も(ババボボーの妨害にあって)未定となった。

大企業から、中小零細企業に至るまで、幾ら借金があっても潰れない。毎月または期日までに返済し続けられれば(運転資金が回っていさえすれば)という条件付だ。これが滞った瞬間に、倒産！破綻！という憂き目にあう。武漢ウイルスを発端とした経済崩壊は、日を追う毎に実態が明らかになるだろう。以下の動画をご覧ください、時間と空間の商品化をお考え下さい。



<https://www.youtube.com/watch?v=ICBIYCY56D4>

世良公則 × 安藤裕『コロナ禍・新たなステージに向けて』